

地域の医療と健康をサポートする広報誌

ホスピタル広報 伊賀

発行者／伊賀市立上野総合市民病院

三重県伊賀市四十九町831番地 TEL. 0595-24-1111(代表) FAX. 24-2268

<http://www.cgh-iga.jp/>

2015.1.1

創刊号

[年4回発行]

ご自由に
お持ち帰りください



CONTENTS

巻頭言：伊賀市立上野総合市民病院 院長 三木 誠雄

P2

新任医師挨拶：救急科 部長 畑田 剛



医師紹介 当院の常勤医師 19 名を紹介

P3

インフルエンザ Q&A

カムバックセミナー開催

P4

第1回 栄養管理課だより

P5

職員募集

外来診療表

P6

卷頭言

私が当院に赴任し、ほぼ4年が経ちました。当初は受け入れることが困難であった救急患者も、今はほぼ100%近く受け入れることができ、救急からの入院治療もほぼ完結できるようになりました。先日の総務省病院経営コンサルタントの当院に対する評価でも、当院は質の高い医療を提供できていることが客観的に示されました。ここまで病院機能が回復できた理由として、苦労を厭わずに歩み続けてくれた全職員の努力が第一に挙げられます。さらに私たちの病院が本来持っている潜在的な力もその要因の一つであり、このような私たちの病院と全職員を本当に誇りに思います。

これまで私たちは地域医療をどう担うべきか模索してきました。そして得られた結論は、公的医療機関として完結型医療を提供するということです。すなわち予防医学、健診から急性期医療の提供、さらに緩和・ターミナルケアから在宅医療の後方支援としての地域包括ケアまで、シームレスに地域医療を提供することが私たちの使命であると考えます。来春にかけ、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士など新しい仲間を迎えることが見込まれています。さらに責任を持って担うことのできる診療領域を一步一步増やしていくことも私たちの努めでもあると言えるでしょう。

チャールズ・ダーウィンは「種の起源」の中で、「地球上の生き物はすべて、生き残るチャンスを求めて進化していく。最も強いものや最も賢いものが生き残るのではない。最も変化に適応したものが生き残る」と述べました。激動の医療変革の時代に私たちが求められるものは、変化を厭わない柔軟な姿勢と自らの誇りを忘れないことであると考えます。



伊賀市立 上野総合市民病院 院長 三木 誓雄

7月1日に伊賀市立上野総合市民病院救急科に赴任し、早くも半年が経ちました。上野総合市民病院では、救急医療・災害医療部門を担当しております。

伊賀地域の救急医療は主に二次救急医療施設で成り立っています。地域の特色として高齢者が多く、在宅から、また入所施設からの救急搬送が多くなっています。地域の医師会の先生方と協力しながら、急性期治療を病院で行い、軽快後には在宅での療養というスタイルを構築できればよいと考えております。一方で、三次救急疾患の治療となると市外への搬送を考慮せねばなりません。滋賀医科大学病院救急部、三重大学病院救命救急センターなどの三次救急医療施設との連携をさらに密にし、より安定した救急医療体制の構築をしていきたいと考えています。当方では、三次救急疾患の傷病者に対して、可能な限り安定した状態で治療のための搬送ができるように努力しております。

救急医療について今年度は救急救命士の処置が拡大されるという大きな変化があります。これまでできなかったショック状態の傷病者に対して病院前から輸液を行うことができるようになります。

す。低血糖の状態の傷病者にブドウ糖を投与することも可能になります。これらについての教育にも随時係わっていく予定です。

上野総合市民病院は、三重県から災害拠点病院として指定されており、災害時の重症傷病者の受け入れ、治療、搬送にも期待されています。災害医療システムの構築については、日本の多くの地域で国の掲げるところと地域の現状とが乖離しています。この地域における災害医療システムの構築も重要なことと考えます。自治体のみならず地域をあげて考えていかなければならぬことです。これにつきましても、自治体を中心に地域の医師会の先生方と協議していく必要があります。

これまでに蓄積したこと、経験してきたことなどから、少しでもこの地域の救急医療、災害医療に貢献したいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。



救急科 部長 畠田 剛

医師紹介

当院の常勤医師19名を 専門領域別にご紹介します

① 内科系(小児科も含む)

● 足立幸彦

肝臓病(肝炎、肝硬変、肝癌)が専門です。三重大学名誉教授です。肝臓疾患の診断・治療で有名であり、常に最新の肝疾患治療にもチャレンジする消化器内科専門医です。

● 斎藤康晴

胃腸病(吐血、下血、腹痛を主訴とする消化管疾患)、胆道、膵臓疾患(胆道癌、膵癌等の悪性疾患ならびに総胆管結石等の良性疾患)が専門です。内視鏡を用いた診断、治療を担当します。

元滋賀医科大学光学診療部教授、高い技術で有名な消化器内科専門医です。

● 宮田和明

循環器疾患(心臓病、大血管疾患)・救命救急が専門です。当院の若手三羽鳥の一人です。当院へ赴任して丸三年になります。滋賀医科大学循環器内科チームの一員として最先端の循環器医療を提供しています。

● 橋本 浩

小児科、総合診療科担当で感染症、アレルギー、てんかん、脳梗塞の治療を得意とします。欧米の医師とともに国際的医療機関で勤務した経験があり、特に肺炎を中心とする感染症に関し、グローバルスタンダードの治療を当院に導入してくれました。

中国語が堪能ですので、お困りの時は是非ご相談ください。

● 田中基幹

臨床腫瘍科、泌尿器科担当で腫瘍疾患(癌、肉腫などの総合診療)、腎疾患、膀胱疾患、前立腺疾患や排尿障害が専門です。

当院5Fに開設される地域集学治療センターの責任者で、すべてのがんに対する集学的治療の専門家です。

● 千賀雅之

私の大先輩で健診センター所属です。月から木まで診察、ならびに外科医としての豊富な経験をもとに上部消化管内視鏡、上部消化管透視を担当していただいている。

外来担当表をご参照いただき、それぞれの専門領域に応じて紹介、来院いただければ幸いです。

あらかじめ地域医療連携室(内305)にお電話いただければ、各医師の外来をご案内し、予約等を取らせていただきます。

(院長 三木 誓雄)

供しています。

● 西川理絵

臨床麻酔が専門です。手術中のみならず、術後もきめ細やかな疼痛管理を提供し、外科領域の周術期医療を支えてくれています。

● 整形外科

● 佐藤昌良

整形外科、脊椎脊髄外科が専門です。鏡視下手術を導入するなど、治療経験豊富な日本脊椎脊髄病学会認定の脊椎脊髄外科指導医です。

● 山口敏郎

整形外科、人工関節が専門です。人工関節手術、外傷を中心に、当院では最も数多くの手術をこなしています。当院若手三羽鳥の一人で、次世代のリーダーとして期待しています。

● 放射線科

● 田中 直

全身の画像診断、血管内治療、ラジオ波治療が専門です。気管支鏡も担当しています。伊賀地域全域から画像診断の依頼を受ける放射線科医です。

当院の癌治療を支える大黒柱かつ高度先進医療を提供できる専門医で、私も含め多くの医師から頼りにされています。

● 婦人科

● 和田俊一

婦人科医療全般が専門です。当院の重鎮的存在で、非常勤の三重大学産婦人科医師とともに子宮癌、卵巣癌の治療も担当していただいている。

● 緩和ケア

● 寺邊政宏

緩和ケアが専門です。伊賀地域では数少ない、緩和ケアに造詣が深い医師で外科医としての豊富な経験を生かし、栄養治療も含めたきめ細やかな緩和医療を提供しています。

天理よろづ相談所病院、三重大学病院等から多くの患者さんが紹介されています。

● 三木誓雄

総合診療、大腸肛門病が専門です。不定愁訴、どこの診療科にかかるといかわからない方の診療、大腸肛門疾患の診断を担当しています。

● 外科

● 浦田久志

一般外科、消化器外科が専門です。難易度の高い手術も的確にこなす当院外科のリーダーです。

● 濱口哲也

一般外科、消化器外科が専門です。高度な技術を有する当院の看板外科医で腹腔鏡を用いた鼠径ヘルニアの手術数は三重県でトップクラスです。

● 西川隆太郎

一般外科、消化器外科(特に胃癌治療)が専門です。癌研有明病院で腹腔鏡を用いた先進的な胃の手術を研修してもらいい、胃癌手術の多くを担当してもらっています。

● 森本雄貴

一般外科、消化器外科(特に大腸肛門外科)が専門です。当院の若手三羽鳥の一人で、腹腔鏡下の大腸手術、新しい痔の治療を担当しています。

● 救急科

● 畠田 剛

救急医療が専門です。三重県下で活躍する4名の救急指導医の一人で、救急初期診療に関してはオールラウンドプレーヤーです。

外科医としての経験も豊富で、伊賀地域はもちろん三重県全域の救急医療の教育を担当しています。DMATの責任者でもあり、当院が災害拠点病院としての役割を担うべく、災害医療の体制構築を担当しています。

● 麻酔科

● 上嶋 亮

臨床麻酔が専門です。関西の大病院で豊富な臨床経験を持つ専門医で、当院の外科系医療を屋台骨として支え、安心、安全な医療を提

インフルエンザが流行期に、よくある質問を紹介します

感染管理認定看護師
前田 きよ美

Q1 インフルエンザと風邪の違いは何ですか？

「かぜ」は上気道で炎症をおこす病気で、一般的に発熱も高くなく、全身症状も比較的軽症です。

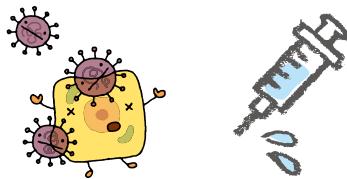
一方、インフルエンザは非常に感染力の強いウイルスが原因で起こります。特徴的な症状は突然の高熱ですが、筋肉痛、関節痛などの症状が強く見られます。“今まで経験したことがない、どうにもならない倦怠感”といえます。

肺炎や脳症などの重い合併症を引き起こして死に至ることもあること、職場での流行や学級閉鎖など社会的影響も大きいことなどから、**かぜとは区別すべき重要な病気**と考えられています。

Q2 インフルエンザにかかりやすい年齢や、重症化しやすい年齢はありますか？

通常、発症する人の多くは15歳以下の子どもで、幼児では、肺炎など、入院のリスクが高くなる傾向にあり、脳症などの合併症の報告もあります。

65歳以上の高齢者では、インフルエンザにかかる比率は少ないのですが、かかると免疫力が低下しているため、重症な合併症である気管支炎、肺炎が多く見られています。その他、**二次感染による細菌性肺炎**も多く最も死亡率が高いので、注意が必要です。



Q3 去年インフルエンザにかかったので今年はワクチン接種をしなくていいですか？

ウイルスは、常に変化しているので、昨年インフルエンザにかかったからと言って、今年はかかるないというわけではありません。そのためワクチンも、流行を予測して新しいものが作られているので、毎年接種する必要があります。また、ワクチンの効果は接種後2週間目くらいから約5ヶ月程度ですので、次の年の有効性は期待できません。

Q4 インフルエンザはどのような治療法がありますか？

以前に病院などでもらった抗生物質の残りを飲むことや、市販の風邪薬ではインフルエンザに効果はありません。

有効な治療薬はウイルスの増殖を阻害する吸入薬と経口薬、点滴、小児ドライシロップがあります。いずれも一般の薬局で購入できませんので、早めに医師の診断を受けましょう。

カムバックセミナーを開催しました

11月18・19日に「ナースのためのカムバックセミナー」を開催しました。1名の方に参加していただき、「いろいろな体験が出来、再就職するにあたり、すごく安心して進めると感じました。」「体を使っての実習はすごく楽しかったです。」などの感想をいただきました。

年間3回開催しています。次回は平成27年2月24日(火)・25日(水)を予定しています。

“けつしてひとりじゃない”
一緒に頑張りましょう！



栄養管理課だより おすすめレシピ

No.1

ひじきの柚子こしょう和え

当院で提供している料理のひとつを工夫やポイントを交えて紹介します。

第1回目のテーマは「塩分ひかえめのメニュー」です。減塩のポイントの一つとして、味付けに香辛料を使用したり、料理に香味野菜や種実類を加えたりすることで塩分が少なくて食べやすくなることがあります。

また、野菜や海藻類、果物に豊富に含まれているカリウムは過剰なナトリウム（塩分のもと）を排泄してくれる役割があると言われています。カリウム豊富なひじきを使い、柚子こしょうの辛味と胡麻の風味を生かした一品です。



材料(1人分)

干しひじき	2g (大さじ1/3)
ピーマン	20g (大1/2個)
しめじ	15g (1/5パック)
枝豆	5g (7粒)
とうもろこし	5g (小さじ1)
鶏ささみ	20g (小1/2本)
マヨネーズ	8g (大さじ2/3)
柚子こしょう	0.5~1g (小さじ1/8~1/4)
みりん	3g (小さじ1/2)
すりごま	1.5g (小さじ1/2)

作り方

- ① ひじきはごみや砂を洗いおとし、たっぷりの水につけてもどす。
 - ② 鶏ささみはゆがいてほぐしておく。
 - ③ ピーマンは細切りにし、しめじはほぐしてさっとゆがく。
 - ④ 枝豆ととうもろこしはゆがいて、実をわけておく。
 - ⑤ みりんは煮切っておき、その他の調味料を加えて混ぜ合わせる。
 - ⑥ ①~⑤を混ぜ合わせ、すりごまを和える。
- * 柚子こしょうの量はお好みで調節してください。

一人分:エネルギー 116 kcal、たんぱく質6.6g、カリウム320.3mg、塩分0.37g

栄養指導ご希望の方は、お気軽にご相談ください。



市民病院では来春採用の看護師正規職員を募集します

【選考試験日】 平成27年 1月24日(土) 午後
※時間などは応募した人に後日お知らせします。

【選考方法】 作文・面接

【試験会場】 上野総合市民病院

【応募期限】 平成27年 1月15日(木)

【採用予定日】 平成27年 4月1日(水)

【提出書類】

- 平成26年度伊賀市職員採用試験受験申込書
- 外国籍の人は、住民票などの在留資格を証する書類

【応募先・応募についての問い合わせ】

○〒518-0823 伊賀市四十九町831 番地
伊賀市立上野総合市民病院事務部庶務課
TEL.0595-24-1111 FAX. 0595-24-1565

3歳と2歳の2人の子どもを
育てながら働いています。
2人とも、院内託児所「パンビ」へ
楽しそうに通っています。
小さなお子さんがいる方でも安心ですよ。

託児所が
あります



病院見学を随時受け付けています

伊賀市立上野総合市民病院 外来診療表

所在地 伊賀市四十九町831番地 TEL. 24-1111(代表) FAX. 24-2268

※総合診療科(火・金)の受付時間は午前8時30分から午後4時30分迄、その他外来の受付時間は午前11時30分迄です。

なお、皮膚科・眼科は午前11時迄です。その他、下記外来診療表の()内をご参照ください。

※脳神経外科、神経内科は他の医療機関からの紹介状(予約制)が必要です。

※もの忘れ外来は不定期(月2回・金曜日・予約制)のため、事前に電話にてお問い合わせください。

※第1・3火曜日にペインクリニック内科外来を行っていますので、ご不明な点はお問い合わせください。

※臨時に休診になる場合がありますので、事前に電話にてご確認ください。 (平成27年1月15日~)

曜日	月	火	水	木	金
診療科					
総合診療科	橋本 浩	三木 誓雄		三木 誓雄(午前のみ) サルコベニア外来	三木 誓雄
内 科	足立 幸彦(肝臓) 清水浩一(腎臓内科) (13:00~15:30)	浜島 信之	斉藤康晴(消化管)	斉藤康晴(消化管)	田中 基幹
			田中 基幹	足立幸彦(肝臓) (13:00~16:00/第4のみ13:00~14:30)	
			大学医師(月2回)	五十嵐知之(呼吸器) 菱田朝陽(13:00~15:00)	
循環器内科	宮田 和明 (9:15~11:30)	八木 典章 (9:00~11:30)	宮田 和明 (9:15~11:30)	松本 祐一 (9:00~11:30)	山本 孝 (9:30~11:30)
神経内科			朝日 理 (予約のみ)		
小児外科 (第4火曜日)		内田 恵一 (13:00~16:00)			
外 科	初 診	浦田 久志		濱口 哲也	寺邊 政宏
	再 診	寺邊 政宏 濱口 哲也		森本 雄貴	千賀 雅之 浦田 久志 西川 隆太郎
脳神経外科(予約制)		中塚 慶徳 (10:30~13:00)			
整 形 外 科	I 診	佐藤 昌良	佐藤 昌良	宮本 憲 (15:00~16:30)	山口 敏郎
	II 診	山口 敏郎	山口 敏郎		宮本 憲
	III 診				
婦 人 科 (第2・4水曜日のみ2診)	I 診	和田 俊一	和田 俊一	和田 俊一	和田 俊一
	II 診			田畠 務 (9:30~11:30)	
小児科		橋本 浩	橋本 浩	橋本 浩	橋本 浩
眼 科		宮田 真衣 (9:30~11:00)			
耳鼻咽喉科	竹内 万彦				
皮膚科				横山 智哉 (9:00~11:00)	
泌尿器科	田中 基幹		神田 英輝		朴木 繁博
肝胆膵疾患外来	櫻井 洋至 (9:30~11:30)				
大腸肛門病センター		三木 誓雄			三木 誓雄
緩和ケア外来(完全予約制)		寺邊 政宏 (15:00~17:00)			
ヘルニア外来(鼠径)			濱口 哲也 (13:00~15:00)		
不整脈専門外来(最終月曜日)	堀江 稔 (13:30~15:30)				
ペースメーカー外来(予約制) (第3木曜日)				宮田 和明 (13:00~15:00)	
炎症性腸疾患外来(第2月曜日)	安藤 朗				
ピロリ除菌外来(予約制) 予防接種外来(予約制)				菱田 朝陽 (15:00~17:00)	
腫瘍外来(予約制)	田中 基幹		田中 基幹	井上 靖浩	田中 基幹
もの忘れ外来(月2回・予約制)				田中 光司(13:00~15:00)	
ペインクリニック内科 (第1、3火曜日)		横地 歩 (15:00~16:30)			赤津 裕康 (14:00~16:00)